

授業概要

近代作家の小説を自筆原稿から考察する。
「蜘蛛の糸」や「羅生門」など、比較的知られた小説を作家の原稿から受講者自身が実際に読んでいき、そこから作品の読みの可能性を見出していき、広く日本近代文化全体への考察へと至る。

授業計画

第1回	ガイダンス 授業のねらいと方法
第2回	近代作家の自筆資料について
第3回	芥川龍之介「蜘蛛の糸」原稿についての講義
第4回	芥川龍之介「蜘蛛の糸」原稿についての実習
第5回	芥川龍之介「羅生門」原稿についての講義
第6回	芥川龍之介「羅生門」原稿についての実習
第7回	芥川龍之介「邪宗門」原稿についての講義
第8回	芥川龍之介「邪宗門」原稿についての実習
第9回	夏目漱石「道草」原稿についての講義
第10回	夏目漱石「道草」原稿についての実習
第11回	横光利一「寢園」原稿についての講義
第12回	横光利一「寢園」原稿についての実習
第13回	横光利一「悪魔」原稿についての講義
第14回	横光利一「悪魔」原稿についての実習
第15回	横光利一「時間」原稿についての講義
第16回	横光利一「時間」原稿についての実習

到達目標

- ① 近現代の文学を自筆原稿から読解することを通して、日本の文字文化全体の考察ができるようになる。
- ② 自らを取り巻く文化を歴史的に広く社会と関連させながら理解できるようになる。

履修上の注意

欠席しないこと。特別の理由がない限りすべて出席するのが前提である。実習形式をとるので授業内で読み書きしたりといった作業が必要となる。

予習・復習

- 【予習】読むべき文献を指示された場合は期日までに読み終え、自分なりの感想、疑問を考えておくこと。
【復習】授業内容を踏まえ、再び作品について考えること。

評価方法

授業における課題（50%）・期末レポート（50%）を目安として評価する。

テキスト

プリントを使用する。